



会員数 18人

北九州プロバスクラブ月報

つながり

No. 229

令和7年7月号

2025. 7. 15

6月卓話

ハンドベルって楽しい!

ハンドベル・ソロ・ミュージシャン

石井 のり子 氏



ハンド・ベルのコンサートは、久しぶりで感慨深いものでした。ハンドベルの演奏家になられて国際交流に力を注いでおられるお話は、ボランティアスピリットと相まって感銘を受けました。さらに集団で本格的な楽器で演奏するハンドベルが主流の中、幼稚園や保育所で使用されるベルを一人で演奏するなんて、ウルトラマンの胸のボタンが点滅するかのように期待がわきました。

子ども用のハンドベルは音の数つまり音域に制限がありますから、其の音域に収めるべく移調しなければならない。どうしても低音が1つ足らず、聞こえないふりをしてもらわなければならないケースも出て来ます。演奏したい曲の音域が足りなさすぎる場合は、その上のグレードのベルと混ぜて演奏しなければならない…。もう1つの問題点は、ベルは塩分に弱いので練習時から手袋が必須。また中の玉のバネの調子が悪かったり、空回りすると音がでない。ぶつつけるなんて言語道断。音が狂ってしまうから…等々。

さあ演奏開始。曲目も我々が分かりやすい四季に因んだ「荒城の月」やハーモニーの美しい「さくらさくら」。夏の日の思い出の曲「夕焼け小焼け」はつられて歌い出す会員出現。秋は懐かしい「赤蜻蛉」冬は「クリスマスメロデー」でした。1人だからとゆっくりしては何の曲かわからなくなるので速い曲は凄まじい勢いでベルを選び!振る!を繰り返さなければならず、まるで千手観音です。圧巻はディズニーの「星に願いを」でした。音域が広いうえにハーモニーを奏でなくてはならず、両手に持った複数のベルから出す音・



出さない音を選択し…まさに三面六臂の大活躍とはこのこと。

でも会員の顔が一番生き生きとしたのが「キラキラ星」の演奏体験でした。この時ばかりはベルについている【い】【ろ】【ん】【な】【色】が大活躍で、コンサートマスターの指示通りに振り続けて完成しました。みんな呑み込みが早く、初めてとは思えない出来栄で、充実感にあふれた表情をしていました。(植田)

6 月例会報告

今月は誕生日の人はいなくて、すぐに食事に入りました。例会卓話は「ハンドベルを楽しもう」。本来は複数の人たちが演奏するものを、一人で八面六臂の活躍をしながら、美しいメロディを奏でられていました。終わりに全員で演奏した「きらきら星」は、石井指揮者の下、一糸乱れぬ演奏?を披露、とても楽しい卓話となりました。

続いて委員会、同好会の活動の報告、お誘いに続き、遠藤会員のショートスピーチは、痛〜い身につまされるお話でした。それから今年は役員改選の年、吉田選考委員長が新役員候補者の報告を行い、植田会長から 7 月は定時総会の月、総会資料は忘れずに持参するようにと。新年度の委員会、同好会の希望調査の実施や 7 月例会のお知らせ等があり、今月もアカペラでクラブの歌を元気に歌って解散となりました。(内藤)

委 員 会 報 告

企画委員会

7月1日 6名出席

今期最後の企画委員会を1日午後5時半から湖月堂で開催した。委員8人のうち6人が出席、今期限りで委員長を退任する松本が「この2年間お世話になりました」とお礼の挨拶をした。

議事に移り、7月例会卓話の山下静江会員を含め皆で、湖月堂でパワーポイントが使えるかどうか、テストする要領などを打ち合わせた。

8月例会卓話は暑気払いで休み。9月は市中央図書館長を講師に内定していたが、市議会の委員会と重なる恐れがあるため 10 月をお願いすることとし、作曲家久保一郎さんによる会員参加の「昭和の歌を歌おう」(仮題)に決めた。

最後に、新委員長に引き継ぐ内容などを検討した。(松本)

交流委員会

7月8日 5名出席

湖月堂で午後 5 時 30 分から開催しました。「暑気払い」は現在の委員会で実施するということで話し合いました。8月は湖月堂が使えないので、気分を変えて違う会場をとの意見があり、他のホテルなど数件あたって、観山荘別館で実施することに決定しました。イベントは楽しいゲームをして、会員同士のおしゃべりで花をさかせるのも良いではないかということになりました。兎に角みんなが楽しめる会にしたいと思います。会員数が少なくなった今、全員が楽しく行事に参加できることを、次年度の交流委員会に託したいと思います。(柴村)

広報委員会

7月7日 3名出席

今日は七夕、厳しい日差しの降り注ぐ 12 時 30 分から、ホテルテトラ北九州で開催。熱々とんかつランチをいただき、つながり 8 月号の編集会議からスタートです。7月例会は定時総会と会員卓話で、原稿、写真の担当者を確認。新役員の紹介等もあり、1、2 面は記事がたっぷり。だが同好会は3団体のみが活動で、トピックス記事があるものの、記事が足りないのではと少し心配でもあります。

また、今年は役員改選により、会報「Link26 号」への取組みが窮屈なスケジュールになっており、随想等の提出願ひ文書の検討も行いました。それに、7月号の校正もしっかりと実施、暑いあついとつぶやきながら帰路に着きました。(内藤)

同好会活動報告

歴史文学講座

6月24日午前10時から松本清張記念館で開きました。出席したのは、ゲスト2人を含め8人でした。

史学博士廣崎篤夫先生が講師で、「戦国無情の九州戦国史」シリーズ第3話、柳川を舞台にした「筑後塩塚城攻防・蒲池一族殲滅戦」でした。龍造寺隆信の玉鶴姫を嫁として迎えた蒲池鎮漣と、隆信との間で確執が起きる。その結果、残忍な隆信が鎮漣をだまし討ちにした挙句、蒲池一族を皆殺しにしたお話。その蒲池家に、実家に行っていて難を逃れたたった1人の赤ちゃんがおり、その末裔が蒲池法子すなわち松田聖子であるとのオチも付いていました。

(松本)

ワインを楽しむ会

6月22日午後6時から、ブラスリー「リップ」に9人が集い147回目を開催した。この会は隔月開催のため開始前から話が弾む。本日は特に前回欠席の山下博会員の出席もあり、殊の外である。

先ずはオーストリア産のリースリング100%白。柑橘系の果実が口に広がり、ジューシーでフレッシュな酸味が綺麗にワインをまとめる。次いでイタリア産ネロ・ダーヴォラ100%の赤。ふくよかな果実味に柔らかい口当たりで旨味と塩気を感じる。



最後はフランス、ボルドーのサン・テミリオン赤。ワイン評価の89-91をたっぷりと頂き、これらワインに合わせた料理を入江マスターが腕に撚りをかけてくださり、全員満足顔で帰路に着いた。(古賀)



「ある日のできごと」

No.86 遠藤 信子

療養中の遠藤会員のある日の話でした。平成29年6月といいますから丸8前、当時左膝が悪く、整形外科で治療を続け3年程で完治されたそうです。しかし、同時に腰も悪く「脊椎管狭窄症」と診断されていて、以来週の2回リハビリと理学療法を今でも続けられているそうです。歩く速さが人の5分の1程度になったと嘆かれていましたが、私はそんなに遅いとは思われないのですが…。

それは今年5月9日、風雨の激しい日で出かけるのを渋っていたのですが、予約していた病院へ。治療が終わりバスで帰ったのですが、バス停から自宅までは雨風も強く傘がさされません。どうにか歩き出した瞬間、前方から突風が吹いて後ろ向きに倒れたそうです。眼鏡はぶっ飛び、傘の骨は折れ、頭も少し切っていたそうです。なんとか自宅に帰りましたが、眼鏡がなくては困ります。午後からタクシーで眼鏡店へ出かけたという、散々な1日のお話でした。

体力的には少し衰えが見えるものの、気力、精神力は充分の遠藤さん、今年は酷暑の気配濃厚、くれぐれも無理をなさらずに体調に気をつけられて、充実した日々をお過ごしください。(内藤)





75 歳で、仕事で長く留守にしていた故郷の小倉に帰った。「何にも縛られない気ままな一人暮らし」に慣れた 80 歳の頃、北九州市立年長者研修大学校の周望学舎に入学した。90 歳くらいの機敏に体を動かされる男性クラスメートが、もう 50 年近く社交ダンスをしていると、雑談の時に話されていた。この学舎では入学時の親睦会から始まり、年に数回「飲み会」があるが、そこではすぐにカラオケやダンスが始まる。学生時代から音楽も体操も、まるで駄目だった私は全然楽しめない。これではと一念発起で、音楽に合わせて踊るダンスを習い始めたものの、何度言われても頭に入らないし、「やって御覧なさい」と言われるとパニックになるという状態！

学生に「教える」ことを業とし、「相手のわからないこと」ばかりを長年にわたり嘆いていた私は、小学生が分数や割り算でつまずく気持ちが初めてよく分かった。何と言われてもどうしても頭も体もついてこない。時には先生の方が「どうしていいかわからない」という感じだった。劣等感からくじけそうにもなったが、先生や先輩が「大丈夫！年をとったら誰でも解るまでに時間がかかる、健康のためにも続けた方がよい」と、「できない私」を放り出さずに何度も優しく励ましてくださった。石の上にも 3 年と言うが、回数を重ねるにつれ、どうにかこうにか解るようになりつつある。この教室も 6 月で終わるが、最後に先輩男性と一緒に踊ってくださった。ジルバ、ブルース、ワルツ、タンゴ、ルンバと、音楽に合わせてパートナーのエスコートで楽しく踊れた。85 歳の私が初めて味わった音楽と体のリズム感の心地良さである。それにしても、ダンスは「男性のお誘い」を受けて踊れるというのも、ちょっと抵抗も感じる。私から「**SHALL WE DANCE ?**」とお誘いするようになりたいかな？

ありがとう BOX メッセージ 6 月分 (入会順、敬称略)

★全てに感謝(遠藤) ★皆様にお世話になりました。ありがとう(神田) ★皆様の元気な顔で、私も元気になります(古賀) ★(吉田秀子) ★(松本) ★(植田) ★今月も元気で出席しました(吉田信雄) ★いよいよ暑い暑い夏がやってきました。皆で元気にのり切りましょう(柴村) ★ダイナミックに演奏している石井さんに感激しました(藤原)

収支報告	令和7年5月末残高	66,489円
	令和7年6月分	4,850円
	令和7年5月末残高	71,339円